

特定行為研修終了者・ICTセミナー講演資料  
2025年3月10日(火)16時10分~16時30分

10A 病棟スタッフコ

10A18-10A28

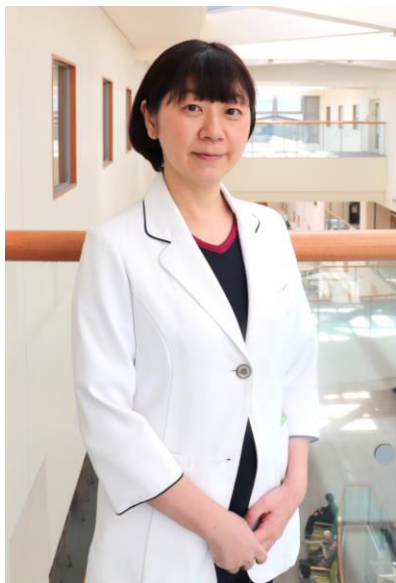


10A01-10A17

# DXの推進による看護の未来

NTT東日本関東病院 村岡 修子

# 自己紹介



## 1. 学歴

- 明治大学文学部史学地理学科卒業(文学士)
- 国立看護大学校研修課程部卒業(看護学修士)
- 国際医療福祉大学保健医療学専攻医療経営分野博士課程在学中

## 2. 職歴・資格

- NTT東日本関東病院品質保証室長
- NTT東日本総務人事部医療センタDX推進部門担当部長
- 東京医療保健大学総合研究所客員教授
- 認定看護管理者
- 医療情報技師
- 一般社団法人看護業務研究会理事(2016年～)

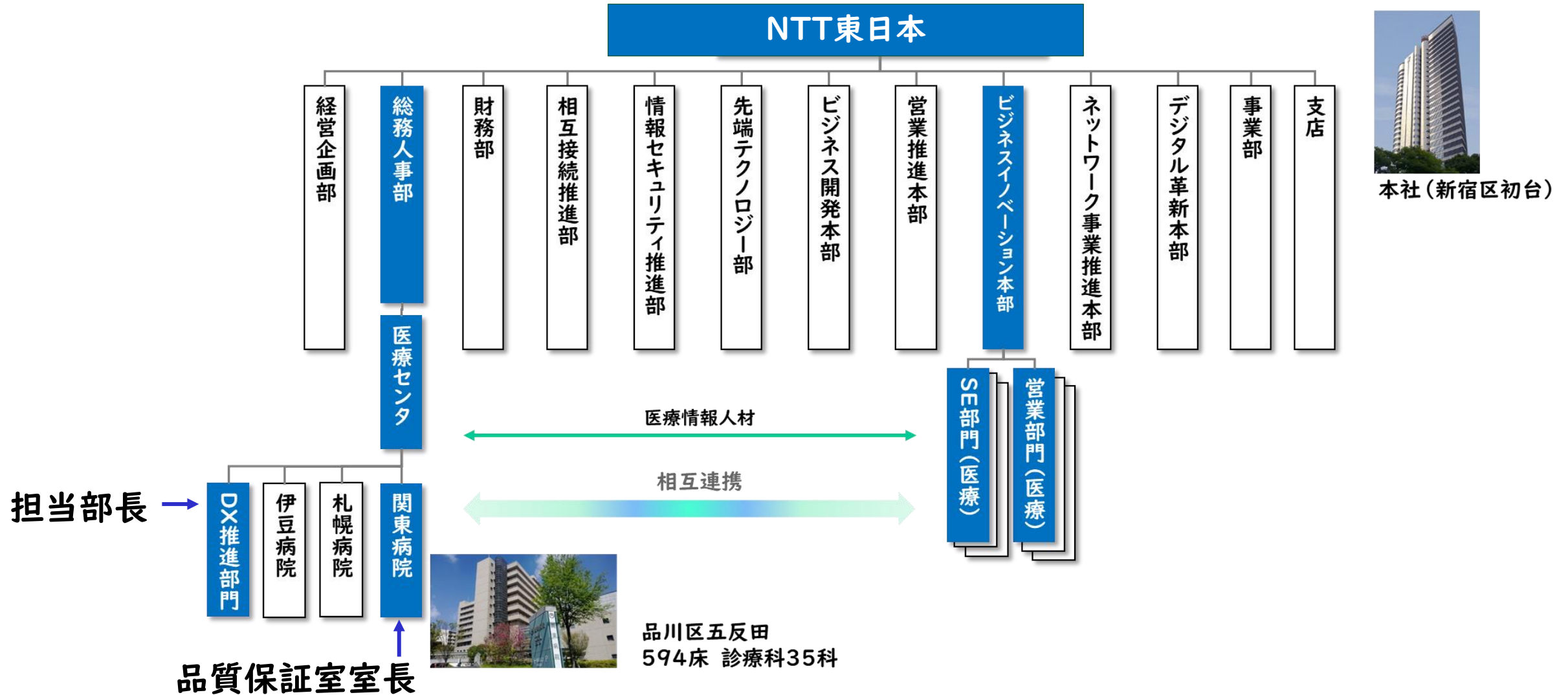
## 3. 専門分野

- 看護情報管理学 ・医療経営学 ・考古学

## 4. 学会活動など

- 日本医療情報学会看護部会副部会長
- 日本医療マネジメント学会クリティカルパス委員、DX推進委員
- 看護現場におけるデジタルトランスフォーメーション効果検証事業委員

# 組織内の立ち位置



# 令和8年度（2026年度）診療報酬改定

- 看護人材不足への対応のため、ICT機器等を活用した看護業務の効率化を推進する新たな仕組みが開始。具体的には**看護要員の配置基準が1割以内で柔軟化**された。

## 対象となる病棟

急性期一般入院料1~6

急性期病院A・B一般入院料

地域包括医療病棟入院料1・2

小児入院医療管理料1~4

特殊疾患病棟入院料1・2

緩和ケア病棟入院料1・2

など

## 【ICT機器等の導入要件】

以下の**3種類**のICT機器等を**全て導入**

- ①見守りにおける業務効率化に資するICT機器等
- ②看護記録の作成等の効率化に資するICT機器等
- ③医療従事者間の情報共有の効率化に資するICT機器

## 【超過勤務時間の要件】

対象職員 **看護要員（常勤のみ）**

基準時間 **平均10時間/月以下**

増加要件 **導入前と比較して増加傾向にない**

# 業務が効率化されたその先の看護

## 業務の効率化が究極的に進むと？

- 看護師が患者に寄り添うための時間が創出される
- 看護の意思決定につながる患者情報・病院情報が自動的に提案される
- 看護記録が自動化される



## その先の看護とは？

「看護とはなにか？」が問われる

「看護師にしかできないこと」を特定し実践することが重要

# 看護師にしかできない業務とは何か

たまねぎの皮をむいたら何が残る？



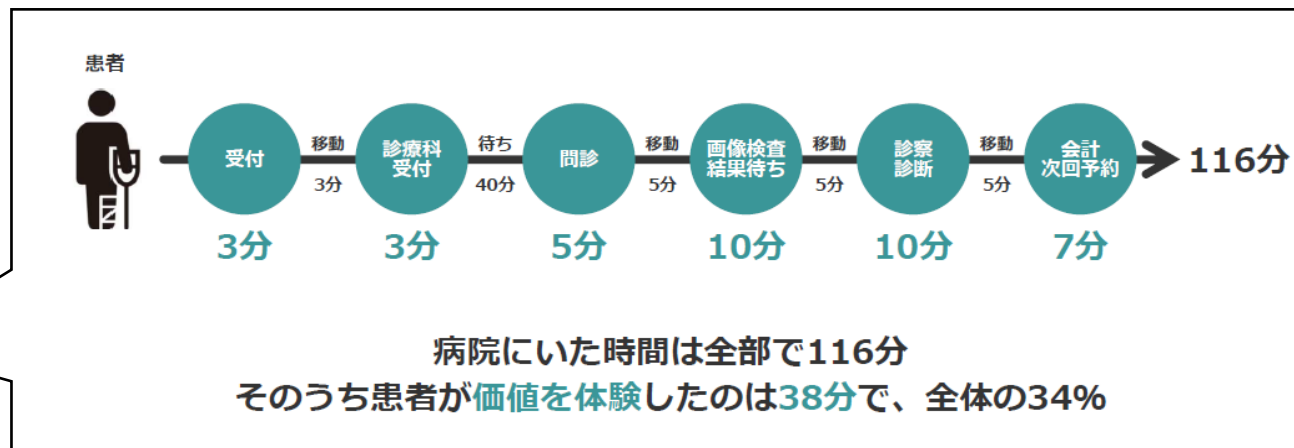
1枚目 ロボット  
2枚目 デジタル技術  
3枚目 AI

- 転倒転落アセスメント
- 患者急変予測
- 死亡予測

# DX推進による未来の看護

## 医療・ケアの質向上

1. 有害事象を起こさない
2. 業務手順に偏りが無い
3. 経営が安定している
4. 患者体験の評価が高い



株式会社日本経営\_LEAN Innovation “看護部から病院を変革する!” 第29回日本看護管理学会資料を一部改変し転載

## 5. 職員の組織コミットメントやエンゲージメントが高い

### 職員が

- ・この組織に所属したい
  - ・この職場のために働き続けたい
  - ・組織の目標を自分ごととして捉えている
- といった心理的な結びつきの強さ

### 職員が

- ・仕事にやりがいを感じ
  - ・心理的に前向きで活力があり
  - ・「もっと良くしたい」と思って積極的に関わる
- といった仕事への能動的な姿勢の強さ

# どのように改革を進めるのか

## 1 見える化 (As-Is)



- ・業務をフローを可視化
- ・他職種業務と連携状況を相互理解

## 2 課題抽出



- ・課題を抽出
- ・時間、手作業、重複入力、口頭連携、職種間の作業分断などを明確化

## 3 解決策検討



- ・課題解決策を検討
- ・体制、ルール、業務フローの変更か、デジタル技術、ICT、AIなどを導入するか

## 4 課題担当者の選定



- ・分類した課題に対する担当者を選定
- ・担当者は部署、委員会、WGなど

## 5 優先順位決定



- ・二軸法を用いて課題を整理
- ・技術の導入の場合は、「重要性×効率性」が高い施策から検討

## 6 実現と評価 (To-Be)



- ・成果指標を定め、取組みを定量的に評価
- ・進捗管理と改善活動の継続

# 業務の見える化 Value Stream Map/バリューSTREAMマップ

自分たちの工程（プロセス）ではなく、患者の工程（プロセス）が軸

青:大カテゴリー

緑:工程（プロセス）

患者

日勤

夜勤



黄色:問題点

赤:改善点ポイント



# NTT東日本関東病院の取り組み

所在地：東京都品川区東五反田5-9-22

開設者：NTT東日本株式会社  
代表取締役社長 澁谷 直樹

病院長：大江 隆史

病床数：594 床（一般528床、精神50床、緩和16床）

標榜診療科：35 科

外来患者数：1,433 人/日

新入院患者数：14,697 人/年

平均在院日数：9.1 日（一般病棟）

手術件数：552 件/月

2022年10月

DX推進病棟開設

2023年4月

Office365導入

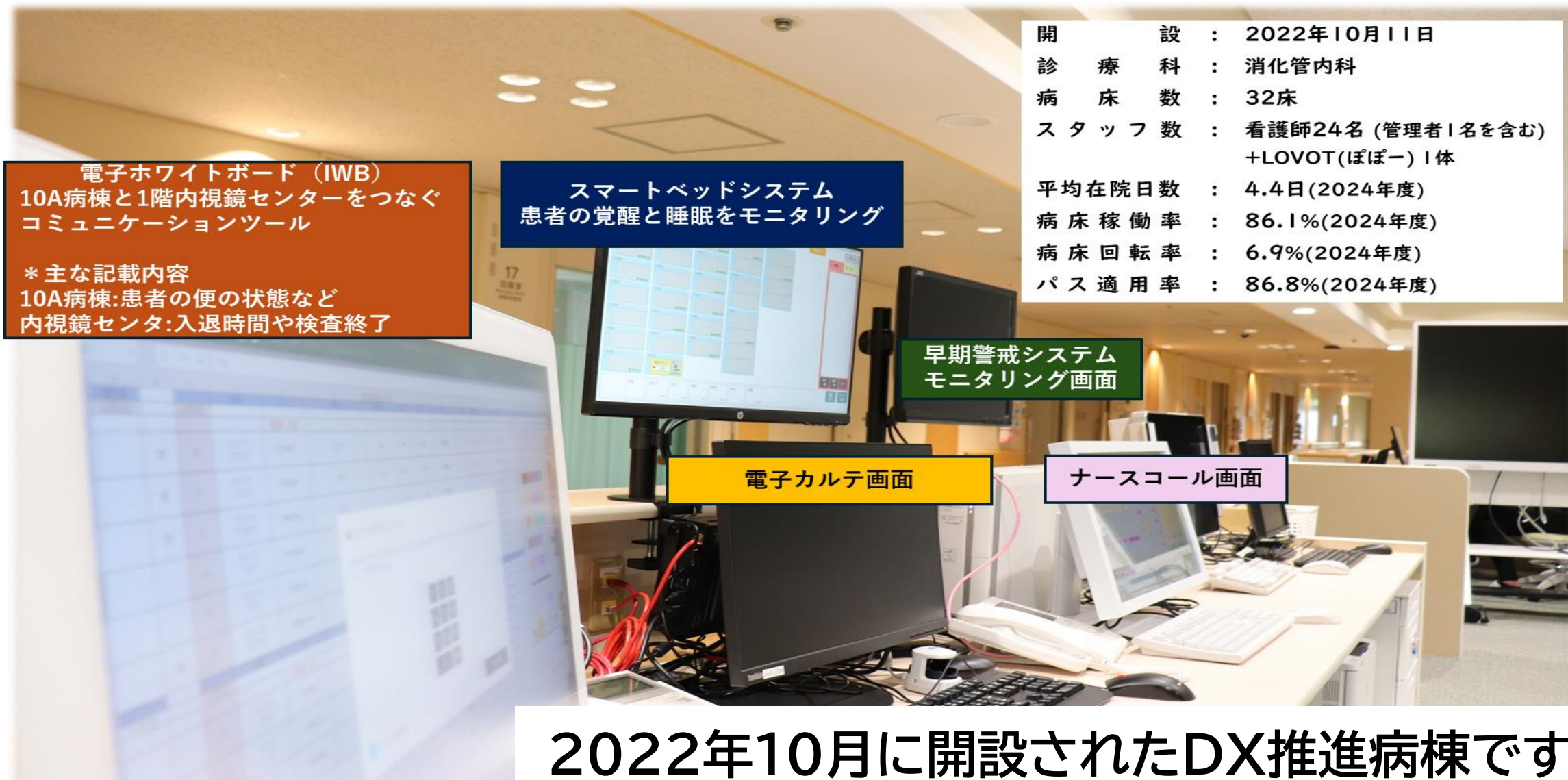
ベッドコントロールセンター

2023年8月

早期警戒システム導入

AIによる業務支援

# DX推進病棟



電子ホワイトボード (IWB)  
10A病棟と1階内視鏡センターをつなぐ  
コミュニケーションツール

\*主な記載内容  
10A病棟:患者の便の状態など  
内視鏡センター:入退時間や検査終了

スマートベッドシステム  
患者の覚醒と睡眠をモニタリング

早期警戒システム  
モニタリング画面

電子カルテ画面

ナースコール画面

開設 : 2022年10月11日  
診療科 : 消化管内科  
病床数 : 32床  
スタッフ数 : 看護師24名 (管理者1名を含む)  
+LOVOT(ぼぼー)1体  
平均在院日数 : 4.4日(2024年度)  
病床稼働率 : 86.1%(2024年度)  
病床回転率 : 6.9%(2024年度)  
パス適用率 : 86.8%(2024年度)

2022年10月に開設されたDX推進病棟です

# DX推進病棟Concept・導入技術・成果

## Concept

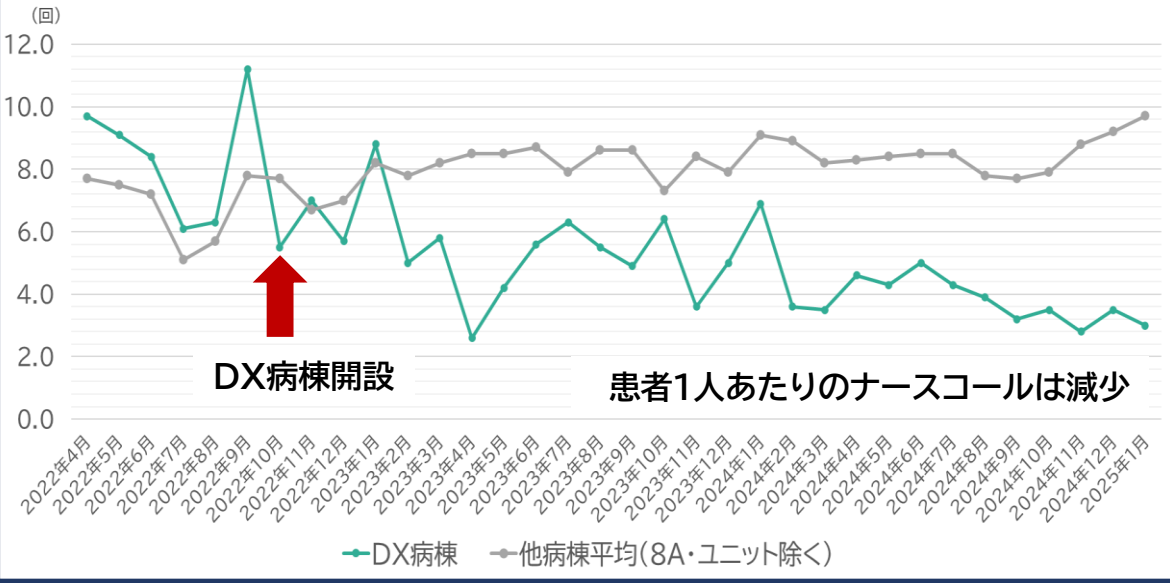
- 1. 医療の質向上
- 2. 働き方改革
- 3. 間接費用の削減

## 導入技術



## 成果

### 患者1人あたりのナースコール件数 (医療の質向上・働き方改革)



# ベッドコントロールセンター

早期警戒システム ダッシュボード画面

在院日数モニタリング画面

早期警戒システム モニタリング画面

病床管理モニタリング画面  
病棟連絡画面（電子ホワイトボードIWB）

電子カルテ画面

病棟調整  
Microsoft Teams

① 予定入院患者入院病床調整  
② 緊急入院患者入院病床調整  
③ 重症患者の入院病棟調整  
④ 在院日数のモニタリング

専従看護師を1名配置しています

# Office365の導入

- 複数間のコミュニケーションツールの代表格
- 2023年4月から看護主任以上の役職者、専門・認定看護師、部署に3台ずつ配置（合計160台配布）



- 連絡や情報共有→チャット機能の活用
- 会議や研修の効率化→オンサイトからWebへ
- 看護管理者のリモートワーク
- ペーパーレス→看護師長会議1万枚／年→0枚

# 働き方改革と超過勤務時間の削減

- 2023年度看護部の実績

時間外勤務時間 42分／月／看護師1人↓

42分(削減時間)×12か月=504分(8.4時間)

8.4時間×650人(看護師数)=5,460時間

5,460時間×3,000円(時給)×1.3(時間外割増)=21,294,000円↓

- 2024年度看護部の実績

時間外勤務時間 94分／月／看護師1人↓

41,294,000円↓

# 医療DX実現に寄与する技術



## ① 気づきを与える、もしくはアセスメント支援

- ・早期警戒システム (NEWSによる重症化予測判定、高リスク患者の受け持ち看護師にアラート)
- ・眠りSCAN (睡眠を客観的に確認可能/ICU除く全病床)



## ② 複数間でのコミュニケーションが可能

- ・Microsoft アプリケーション
- ・電子ホワイトボード



## ③ 病棟の外から業務が可能

- ・電子カルテや業務用ノートPC
- ・入院患者、重症患者病床管理 (ベッドコントロール室)

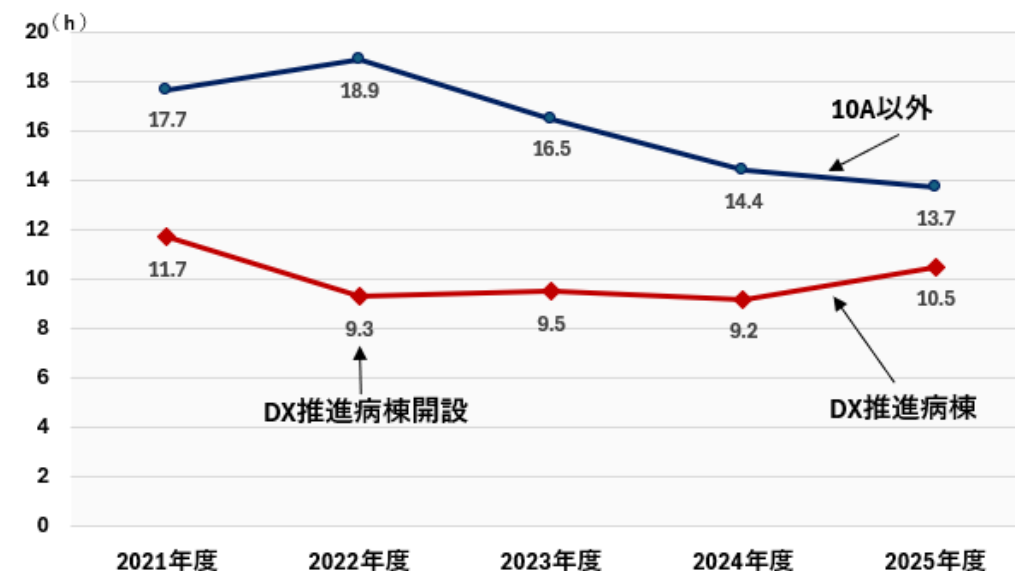


## ④ 診療記録の作成を支援

- ・AIによるサマリーなどの文書作成 (実証実験中)

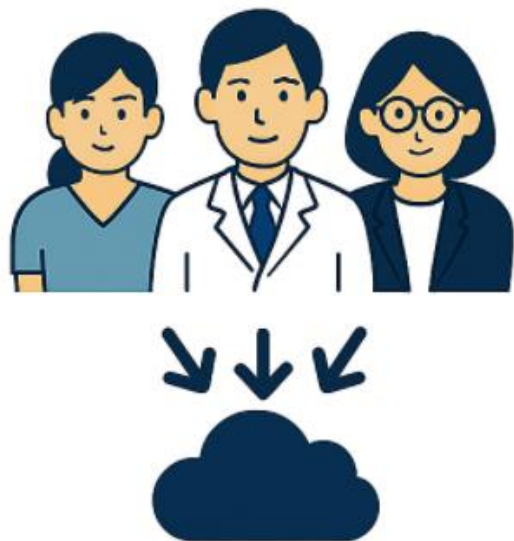
## 成果

看護師1人当たり月平均時間外勤務時間

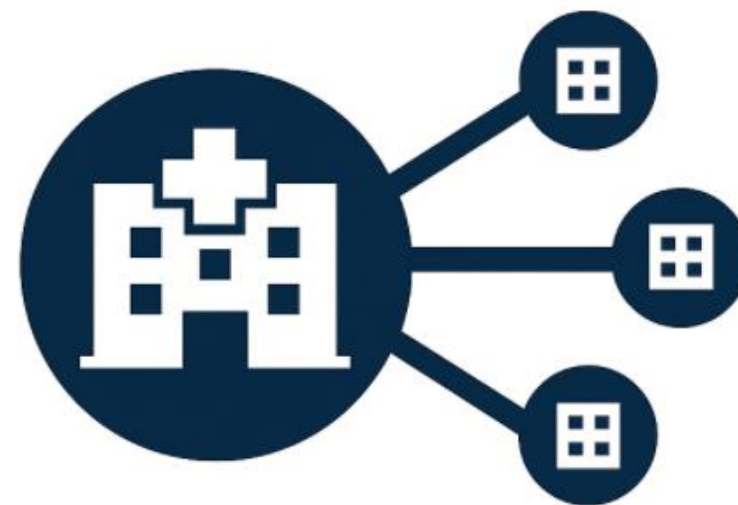


# 医療DX推進の課題

- DXを推進できる人材(看護師)が不足
- DX先進病院が地域や他施設を支援する仕組みが必要



共同人材プール  
SHARD TALENT POOL



ハブ&スポーク体制  
DX先進病院が支援

\*スポーク(spoke)車輪の中心(ハブ)から外周に向かって放射状に伸びる棒

まとめにかえて

## ～DXを成功へ導くための皆様へのメッセージ～

- みずからが一步を踏み出すこと
- 「一緒に取組む」姿勢をもち、仲間を増やすこと
  - ✓ 不安や抵抗感を持つスタッフへの共感と理解
  - ✓ 変化の必要性と目的の明確な説明
  - ✓ 小さな成功体験を積み重ねる場の創出
  - ✓ 現場からのフィードバックを活かした調整
  - ✓ 変化を促す環境づくりとサポート

看護の挑戦が未来を切り拓く